

農薬を正しく使用するための ルール

あなたは、どんな農薬散布をしていますか？

病虫害の発生状況をよく見て、どんな農薬が必要か確認する。

- ①作物の種類は？
- ②病気、害虫、雑草などの種類は？（被害の様子、被害の程度、発生に気がついた時期は？）
- ⇒被害の様子がわかる実物があればわかりやすい。
- ③今までに行った対策は？

◆病虫害の発生を予想しながら散布すると、無駄な散布、手遅れの散布を減らすことができます。

購入する前、使用する前にラベルを良く読んで、農薬の使い方を確認する。

- ①使用できる作物
- ②適用のある病虫害
- ③使用方法（希釈倍率、使用量など）
- ④使用時期（収穫前使用制限日数）
- ⑤使用できる上限回数
- ⑥使用上の注意

◆農薬のラベルには、小さい字ですが、適正使用の情報が満載。

必要量だけ購入する。

- ①使用面積、希釈倍数・使用量。
- ②有効期限を考える。

散布後は、噴霧器やホース等をよく洗う。

前に使った農薬が残って混じってしまうと、散布するつもりが無くても農作物に付着し、適用外農薬が残留分析で検出されます。

農薬を使用するときは、周辺への飛散に注意する。

田んぼや果樹園、街路樹などの散布する周辺への農薬の飛散を抑えなければなりません。もし、飛散して他の作物にかかってしまった場合、法律違反となる恐れがあります。飛散のリスクを減らすため、対策をしましょう。

- ①風向きに注意し、風の強いときは散布しない。
- ②作物だけにかかるよう、作物に近い位置から散布圧力を抑えて散布する。
- ③粒剤等飛散が少ない農薬や、飛散を抑制するノズルを使用する。

⚠️ご注意 病虫害の診断は、判断が非常に難しい場合があります。詳しくは農協や農薬販売店または公共の指導機関にご相談ください。

大阪府農作物病虫害防除指針
ホームページ



生産履歴の記入方法

(JA大阪北部 農産物直売所「ほく彩館」の場合)

1 ※本枠の空白欄を鉛筆で記入

2025年 栽培防除履歴 1 / 2ページ

生産者コード 生産者名 電話番号・携帯電話

作物コード 分類 作物名 品目/品種名 圃場所在地 農薬(除草剤含む)未使用

6 1 0 こまつな こまつな

除草剤・病虫害防除記録(印字のない農薬を使用する場合は使用基準欄も記載)

成分	用途	農薬登録番号	農薬名	使用基準			回数	備考	農薬の使用月日を4回まで記載							
				希釈倍率・処理量	時期/収穫前日数	回数			月	日	月	日	月	日	月	日
1	殺虫	2 0 9 3 9	ジェイエース粒剤	3~6kg/10a	は播前	1回	7/15/23									
1	殺虫	1 9 8 4 2	アファーム乳剤	2000倍	収穫3日前まで	2回以内	3/15/23									
1	殺虫	2 2 5 8 3	モスピラン顆粒水剤	4000倍	収穫7日前まで	1回	7/15/23, 9/15/23, 11/15/23, 1/15/24	0	1	0	2					
1	殺虫	2 0 8 0 6	アルバリン粒剤	6kg/10a	は播時	1回	7/15/23, 9/15/23, 11/15/23, 1/15/24									
1	殺虫	1 0 4 3 8	ガイアシノン粒剤5	6kg/10a	は播時	1回	7/15/23, 9/15/23, 11/15/23, 1/15/24									
0	殺虫	1 9 8 9 9	デルフィン顆粒水和剤	1000倍	発生初期(苗立、収穫前日まで)	---	2/15/24, 4/15/24, 6/15/24, 8/15/24, 10/15/24, 12/15/24									
1	殺菌	2 0 6 2 4	ランマンフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	白さび病									
1	殺菌	2 0 5 7 4	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	白さび病									
0	殺菌	1 8 5 3 4	ジーファイン水和剤	1000倍	収穫前日まで	---	白さび病、軟腐病									
1	殺菌	2 0 8 8 9	ペンレート水和剤	4000倍	収穫21日前まで	1回	炭疽病、白斑病									

5 播種日 定植日 提出月日① 収穫月日① 出荷月日① 提出月日② 収穫月日② 出荷月日② 提出月日③ 収穫月日③ 出荷月日③

0 2 0 1 0 2 0 3 0 2 0 4

※記載日以降 ※記載日以降 ※記載日以降

履歴ID 0 0 7 0 0 3 7 8 2 5 ※農薬の適用は2023年3月11日時点

- ①提出年を記載します。
- ②圃場所在地を記載します。
- ③農薬(除草剤を含む)を使用していない場合は○印を記載します。
- ④農薬使用欄
使用農薬が見つからない場合、帳票の空白欄に登録番号、農薬名、月日を記載してください。
- ⑤播種日、定植日、移植日など作物により記入内容が異なります。
該当する月日を記載してください。
- ⑥提出月日、収穫月日、出荷月日。1枚の帳票で3回まで提出が可能となります。
提出日、収穫月日、出荷月日は必ず記載してください。

※出荷物の圃場・品目ごとに、出荷1週間前には提出してください。また、その後農薬を使用した場合は、その都度提出してください。

履歴記帳は「安全・安心な農産物づくり」の第一歩です。
出荷される方は必ず記帳しましょう。